

**三原市立本郷小学校 第3学年 道徳科学習指導案**  
**教材名：「まどガラスと魚」**

- 1 日 時 令和元年10月9日（水）第5校時（13：45～14：30）  
 2 場 所 3年1組教室  
 3 学 年 [REDACTED]  
 4 主 題 名 自分に正直に A 正直・誠実  
 5 本時のねらい ガラスをわったことをなかなか言えない千一郎の心情を考えるを通して、正直にできないときのうしろめたさや苦しさ、正直に言ったときの心の明るさに気づき、正直に明るい心で元気よく生活しようとする実践意欲を高める。  
 6 教材名 「まどガラスと魚」（「小学道徳 生きる力3」日本文教出版）  
 7 主題設定の理由

**(1) 主題について**

小学校学習指導要領解説特別の教科道徳編では「A 主として自分自身に関すること」の（2 正直・誠実）の3・4年生指導内容項目の中で、「過ちは素直に改め、正直に明るい心で生活すること」を取り上げている。

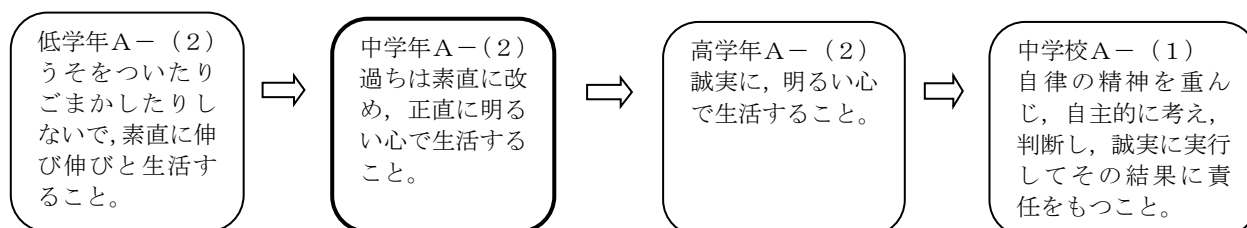
健康的で積極的に自分らしさを発揮できるようにするためには、自分の気持ちに偽りのないようにすることが求められる。また、自己の過ちを認め、改めて生活していく素直さとともに、何事に対しても真面目に真心を込めて、明るく楽しい生活を心がけようとする姿勢を持つことが大切である。

過ちや失敗は誰にでも起こりうることである。そのときに、ともするとそのことで自分自身が攻められたり、不利な立場に立たされたりすることを回避しようとしてうそを言ったり、ごまかしたりすることがある。しかし、そのような振る舞いはあくまでも一時しのぎにすぎず、真の解決には至らない。このことによって、他者の信頼を失うばかりか、自分自身の中に後悔や自責の念、強い良心の呵責などが生じる。

それらを乗り越えようとするのが正直な心であり、自分自身に対する真面目さであり、伸び伸びと過ごそうとする心のすがすがしい明るさである。このような誠実な生き方を大切にする心を育てていくことが重要である。

児童の発達段階においては、自分自身に対する誠実さがより一層求められる。特にその誠実さが自分の内面を満たすだけでなく、例えば、他の人の受け止めに過度に意識することなく、自分自身に誠実に生きようとする気持ちが外に向けても発揮されるように配慮する必要がある。そのことが、より明るい心となって行動にも表れ、真面目さを前向きに受け止めた生活を大切にすることで自己を向上させることや自信にもつながっていく。

**【内容項目とその系統】**



## (2) 児童観

本学級の児童は、明るく元気で「今の自分よりよくなっていく」とする姿が見られる。友だちともめたり、クラスで問題が起こったりした時も正直に話ができる児童が多い。児童アンケートで「今までにうそをついたりごまかしたりしたことはあるか」という問いに対して、83%の児童が「はい」と答えた。その時なぜそうしたのかという問いには、「怒られるのがいやだったから。」「かくせると思っていたから」などと答えている。けれども、その時の気持ちとしてほとんどの児童が「ずっと本当のことを言いたいと思いつつ過ごした。」「もやもやした。」「ずっといやな気持ちがあった」といった自分自身の中に後悔や正直に言いたい思いが生じたという経験をしている。

これらの実態をふまえ、正直であるからこそ、明るい心で伸び伸びとした生活が実現できることを実感させていくことが大切だと考える。

## (3) 指導観

本教材は、友達と遊んでいて窓ガラスを割ってしまった千一郎は謝らずに逃げてしまう。窓ガラスが気になった千一郎は次の日もその次の日も見に行き「ガラスをわったのはだれ?」と書いてある張り紙を見つける。翌日、千一郎の家では、夕飯の魚をねこに取られてしまう。だが、飼い主のお姉さんが、そのことを謝ろうと一軒一軒聞いて回る姿に心を動かされて謝りに行くという内容である。千一郎が迷っている姿から、謝りに行くか、だまっておくかで意見は分かると考えられる。なかなか謝りにいけない千一郎の気持ちに共感させ、正直に明るい心で元気よく生活することの良さを実感させたい。

指導にあたっては、主体的な学びをしていくために、導入時にキャッチボールの役割演技を行う。その中で、ガラスの割れる音を聞かせ、いけないことをしてしまった時の気持ちを発表し合う。そのことで、自分たちの心の中にもある心の弱さを確認し、だからこそ大切にしたいことは何だろうかとか問いかけることで、本時のねらいに対する課題意識をもてるようにする。さらに、展開では、「だまっておく」「謝る」のどちらの行動をとるかネームプレートを置くことで自分の立場をはっきりさせるようにする。

また、対話的な学びをしていくために、千一郎がどうしようか葛藤する心の中を「だまっておく」「謝る」それぞれの意見を聞くことで、千一郎の気持ちを多面的に学んだり、同じ「だまっておく」を選んだ友だちでも少しずつ違う意見を聞くことで、多角的に学んだりできるようにする。中心発問の場面では、自己内対話をしながら自分の考えを道徳ノートに書かせる。その上で、改めて具体的な生活場面を想起させ、実践意欲を高めていく。また、全体で話し合うだけでなく、状況に応じてペアトークを取り入れて、友達の意見にふれさせる。

深い学びをしていくために、千一郎の思いに共感的理解を深めていくように発問を構成し、自我関与を中心とした学習の展開としていく。中心場面以降の発問については、今までの体験場面を想起させながら、終末では、自分の体験を語らせることで児童の生活の中と結び付けていけるようにする。

### ◎研究テーマとの関係

#### 【研究主題】

「誰もが学ぶ喜びと自信がもてる、主体的・対話的で深い学びの創造」

#### ○主体的な学び

- ・導入時に道徳的問題にふれ、課題意識をもつ。
- ・自分自身との関わりでとらえ、考える。
- ・新たな学びを自覚する。

#### ○対話的な学び

- ・協働し、対話する学び。
- ・多面的・多角的に考える。

#### ○深い学び


- ・教師の指導方法の工夫により、新たな気づきや変容がある。

## 8 本時の展開

### (1) 準備物

場面絵 ネームプレート


### (2) 学習の展開

	学習活動	主な発問と予想される児童の反応	指導上の留意点 (※評価)
導入	<p>1 よその家の窓ガラスをわった時にどうするか意見を出し合う。</p> 	<p>よその家の窓ガラスを割ってしまった時どうしますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・怒られるのがいやだから逃げる。</li> <li>・あやまりに行く。</li> <li>・悩むけどやっぱり逃げると思う。</li> </ul> <p>正直に言えないときって・・・</p>	<p>○場面や気持ちを想起させ、資料への導入になるようにする。</p> <p>㊦ 役割演技を行い、いけないことをしてしまった時の気持ちを考え、自分の中にある心の弱さを確認し、よりよい自分を見つけていくという本時のねらいに結び付けていく。</p>
展開	<p>2 教材「まどガラスと魚」を聞いて話し合う。</p>	<p>「ガラスをわったのはだれだ？」という紙を見た時、千一郎はどんなことを考えたでしょう。</p> <p>【だまっておこう】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まずいな。</li> <li>・だまっていればばれないだろう。</li> <li>・怒られるのがいやだ。</li> </ul> <p>【謝る】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・悪いことをしたら謝らないといけない。</li> </ul> <p>次の日「朝起きると、真っ先にお母さんに話しました。」この夜、どんなことを考えたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お姉さんみたいに正直に言わないといけないな。</li> <li>・ほおっておくことはできない。</li> <li>・ガラスをわった家の人が困っている。</li> <li>・自分の心が許せない。</li> <li>・やっぱりあやまらないとずっと嫌な気持ちが続く</li> </ul> <p>(正直にするために大切な気持ちって何だろう。また正直に行動してよかったことはありますか。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正直にすると気持ちがいい。</li> <li>・明るく生活できる。</li> </ul>	<p>○臨場感をもち、自我関与できるように、読み語りで教材提示をしていく。</p> <p>㊦ どちらの気持ちが強いのか、ネームプレートで意思表示する。</p> <p>㊦ 意見の交流においては、葛藤している千一郎の立場を考慮することで、多面的・多角的に考えられるようにしていく。</p> <p>○これまでに起こったことをもう一度振り返ることで、正直にあやまったお姉さんのことを押さえるようにする。</p> <p>㊦ 千一郎に自我関与しながら道徳ノートに考えを書く。</p> <p>㊦ ペアで互いの考えを確認し、全体で話し合う。</p> <p>○悩んだ末に正直に言おうと決めた千一郎の気持ちに共感させる。</p> <p>㊦ 補助発問として「正直にするために大切な気持ちって何だろう。」と問うことで、課題と結び付けて考えていけるようにしていく。</p> <p>㊦ ㊦ 具体的な生活場面を想起させることで、実践意欲を高めていく。</p> <p>○子どもたちの経験を聞くことで、価値に対するイメージを広げるようにする。</p>

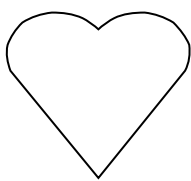
			※「まどガラスと魚」の教材を通して気づいたことをもとに、正直に行動することが明るい生活につながることを考えることができたか。(ワークシート 発表見取り)
終末	3 新たな学びを書く。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;">今日の新たな学びを書きましょう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正直にすると気持ちがいい。</li> <li>・自分のために正直にしたい。</li> <li>・悩むのもいいこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新たな学びを道徳ノートに書く。</li> <li>○自分の中にある正直な心を感じながら余韻をもって終わる。</li> </ul>

## 9 板書計画


やっぱりあやまろう  
 ずっともやもやしているのがいや  
 だ  
 窓ガラスがわれた家の人にわるい




朝起きると、まっ先にお母さんに話した。



自分に正直  
すつきりする  
気持ちがいい  
なやんでも最後は正直に





だまっておく  
おこられる  
だまっていればば  
れない

あやまる  
ネーム  
プレート

ガラスをわったのはだれだ

「まどガラスをわった」  
・まずい ・にげる  
・どうしようとなやむ ・あやまる

正直に言えないときって・・・

